

# 子どもの「学ぶ力」は 家庭学習から育ちます

そんな  
大げさな！

と、思われるかもしれませんが、  
実際、家庭学習に励んでいる子どもたちには、自分に自信をもち、積極的にあらゆる学習に取り組んでいる子どもたちが多いです。



もちろん、「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、むしろ家庭での関わり方によって、その育ち方は大きく変わります。

下の図のように、家庭（保護者）と学校（教師）とが「家庭学習」を通して協力し合うことが、子どもたちの「すすんで学ぶ力」と「心身の健康」を育てていくのではないのでしょうか。

## 家庭と学校とが協力し合って 子どもの「学ぶ力」を育てましょう。

- 生活リズムを整え、決まった場所と時間で**学習に集中できる環境**を
- 認め、励まし、| 対話のある**温かいふれあい**を



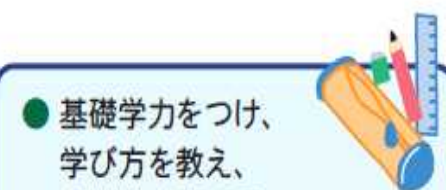
家庭で

すすんで  
学ぶ力



心身の健康

- 基礎学力をつけ、学び方を教え、主体性を育てる、**学習指導**を
- 子どものよさを生かした、**家庭学習の提案**を



学校で

我が家の

# 「凡事徹底」と家庭学習

「当たり前」のことが「当たり前」にできる

いわゆる「**凡事徹底**」を  
あなたの家で、学校で、地域で  
いろいろなところで、やってみよう。

- ・あいさつをする
- ・人の話を聞く
- ・相手を思いやる
- ・いじめをしない
- ・時間を守る
- ・靴を並べる
- ・清掃をする など



生活リズムの確立や規範意識・マナーの育成など基本的な生活習慣の確立は、「**確かな学力**」「**豊かな人間性**」「**健康・体力**」の土台であります。

各家庭においては、「我が家の凡事徹底」を決めて実行していただきたい思います。

## 足もとを見直す！

今こそ「**家庭を学びの環境に**」する努力が、子どもたちの未来に対する大人社会の重要な課題であると考え、この「手引き」を作成しました。

すすんで学ぼうとする力は、

**子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日学習に取り組む**

ことで育ちます。

われわれ大人はもう一度足もとを見直し、決してその時々気分や感情に流されず、大人としての責任を自覚して、家庭学習の充実を目指しましょう。改めるべきことは改め、当たり前なことは、当たり前なこととして推し進めるとともに、家庭を学びの環境に整えていきましょう。

### ちよつとひとこと

「**時を守り、場を浄め、礼を正す**」という森信三先生の言葉があります。

この言葉は、子どもたちだけでなく、我々、大人でも、社会人として、また、人間としても大切なことを教えています。子どもは親（教師）を見て育つと言われます。我々大人が率先垂範して、取り組んでいきたいものです。

#### 時を守る

- 時間を守ること。時間を守ることは、相手を尊重すること。そのことにより、自分が信用を重ねること。

#### 場を浄める

- 掃除をすること。掃除をすることの意味は5Kで表され、気づく人になれること。  
①きれいな場所にする ②心を磨く ③謙虚になれる  
④感動の心をはぐくむ ⑤感謝の心が芽生える

#### 礼を正す

- あいさつをすること、返事をすること。あいさつをすることの意味は、心を開いて相手に迫ること。